

LICENSED PRODUCT  
Black  
3/Color  
White  
Magenta  
Red  
Yellow  
Green  
Cyan  
Blue

天保七  
申年

本相撲評判記

大阪部

中

多9

1569

2

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9



移 9  
1569  
卷 2

相撲評判記卷之二

三日目

東西

立合より双方のあつてまどつて後左り  
四ツおわりり合せて猪負つるを二合  
志をくねわがうままうつひお東方  
より下まわがゆーいお死あうち

紀 春風  
伊吹嶋

東西

初合より立合より左四ツおわりり双方カ  
合終ふより投ゆー岩がけけち  
二かめめ立合より又左り四ツおわりり  
くあつてまどつて投ゆー岩がけけち

伯 岩嶽  
荒虎

東西

初合より立合より双方カ合後四ツお  
志をくねわ合させ出しおて西方ち  
二かめめ立合より四ツおわりりカ合  
又まげ出しおて北山ち

高根山  
篝火



西 東

初をん立合より左四ツふなり志づく  
も立合下まかけぬてふ浪々も  
二をんめ立合より右四ツふなりひらくまで  
西方より上まより中へ投あへ海々も

京 荒海  
大板 藤浪

西 東

初をん立合より双方おさへ合後東より  
上まつけ押出へ立板々も  
二をんめ立合より右四ツふなりカ合て  
東方あかりかけぬて立板々も

京 朝尾川  
白板 板

西 東

初をん立合よりまげくまあひな  
上まつけ左まかむし投まさうの務  
二をんめ立合よりまあぐさあつて東を  
左まかむしけぬて政々川務

佐中 若山  
廿又キ 政勝

西 東

初をん立合よりけくたきあひまむ  
らあつて西方より押出へ過風々も  
二をんめ月く立合よりひらくあつて  
東より押出へ辻々々も

京 辻風  
岩ヶ濱

西 東

初をん立合よりまあひのち右四ツふ  
わりあつて合東よりまげ出へを修務  
二をんめ立合より左四ツふなりひらく  
あひあつてかけぬてを修務も

九 荒浪  
九 豊嶋

西 東

初をん立合より左四ツふなり双方おさ合  
のち西より上まあけぬて三の海々も  
二をんめ立合より日く左四ツふなりひら  
くあつて後東よりまげ出へを修務も

三ツノ海  
玉葛

西 東

立合より双方まげく押合さるまぐ  
あつて後四ツふなり務負つて二をん  
入まけいあつて然つてつひ小東方か  
下まあけぬて鉄門々も

紀 千本山  
鉄門

西 東

初をん立合より右四ツふなり志づく  
カ合のち中から投あつて松の尾々も  
二をんめ立合より双方まお合ひあつて  
東より押出へ松の尾々も

九 小松風  
ヒメ 松ノ尾



西 初をん立合より双方のくまどくど  
の左四ふわりさけしむてちの浦うち  
東 二をんめ立合より左四ふわり東より  
とまより出下投ぬるまがさ待

千賀浦  
沼嶋浮

西 初をん立合よりわくあつて後西方より  
たさう下まわげあてまを松うち  
東 二をんめわくくまどくどあつて西方なり  
さより付て押出さま松うち

箱松  
大茂

西 初をん立合よりまをくまのあひのち  
四ふわりけさ一投あて立石うち  
東 二をんめ立合西よりたを引まはり  
さよりまをあげ立石うち

立石  
荒岩

西 初をん立合より双方けくたきまあひ  
とがひお退まりのちたり四ふわり一をん  
入さやえくまを合つひお東方より  
下まわげあてお石うち

黒鷲  
鬼岩

西 初をん立合より双方まをけくたき合  
後押出さるまをうち  
東 二をんめ立合より双方わくあつて東  
より左よりかまをけあげ三まをうち

鷲ノ尾  
三熊野

西 初をん立合より双方まを合まをく  
あて西方右よりぶねト投まをさるうち  
東 二をんめ立合より右四ふわりてか合  
東方よりとまよりまをけ城うち

白嶽  
城ヶ峯

西 初をん立合より東方左よりまを  
さるまをうち  
東 二をんめ立合より東方なりさより  
あつてすまをわげまをうち

都山  
若竹

西 初をん立合より双方まをけくたき合  
東方より押出さるまをうち  
東 二をんめ立合より左四ふわりてか合  
のちまをわげあてまをうち

雲鶴  
白瀧

三言 阿言三

三



西 初をんを合より左四ふなりゆりくも  
をつぐし後れを投鋒川なり  
東 二むんを合より左四ふなりゆりくも合  
てのちをぞく投鋒川なり

イ 廿  
錦 鎧 川 引

西 初をんを合より右さぬのあをさぬ中  
志をうくあをくのちなり四ふなり後  
東 負つるむを二むん入てあをくゆりくも  
あひつひふ上をちあけあてさ久傳りなり

ハ 伯 限  
榮 榮 山 嶋

西 初をんを合より左四ツふなり志をうく  
ゆり合よりあをけあて吹上りなり  
東 二むんを合より左四ツふなりゆりくも  
あをくのちをちあけあてまら山なり

ハ 京  
吹 待 乳 山 上

西 初をんを合より双方あをく合より  
あをくのち西より押柴しきう関橋  
東 二むんを合より双方あをくつう一なる  
左門込かををけあてはの林なり

大 坂  
竹 玉 手 嶋 拉

西 初をんを合より双方あをく合より  
あをくのち西より押柴しきう関橋  
東 二むんを合より双方あをくつう一なる  
左門込かををけあてはの林なり

大 坂  
津 高 関 神

西 二むんを合より左四ツふなりさぬ合つひふ  
下をちあけあて彈なり  
東 二むんを合より左四ツふなりさぬ合つひふ  
下をちあけあて彈なり

大 九  
驛 長 濱

西 初をんを合より双方あをく合より  
あをくのち西より押柴しきう関橋  
東 合二むん入てまら袋より合勝負付  
まらよりまら左を引なり

イ  
金 小 松 山 挂

西 初をんを合よりゆりくもあつさなり  
四ツふありこひあけあて志を川なり  
東 二むんを合よりゆりくもあつさなり  
あをくのちをちあけ初あつさなり

大 大  
初 白 川 嵐



東西

初をん立合より左四ふなり西方より  
上をばはより出ー投ニツちちちち  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

三ツ鱗 宮柱

東西

初をん立合より左四ふなり西方より  
引付て押出ー押えとととと  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
わり下る投をて物見とととと

屏風浦 勢見崎

東西

初をん立合より双方はくもりきあくの  
るあつとのちちちととととととと  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

高見岩 漣

東西

初をん立合より左四ふなり西方より  
つけま入袋とよせつけ投カと川と  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

築嶋 楓川

東西

初をん立合より左四ふなり西方より  
てのち下るあげととととととと  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

鼓山 王ヶ嶋

東西

初をん立合より双方押合ととととと  
のちちちとととととととととと  
二をんめ立合より右へ合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

伎家川 行破

東西

初をん立合より双方ととととととと  
あつと押出ーととととととと  
二をんめ立合より左り合東よりとび込  
りてとととわげととととととと

岩ヶ嶽 初瀬野

東西

初をん立合より左四ふなり西方より  
ちと合のちととととととととと  
二をんめ立合より左四ふなり西方より  
のち下るあげととととととと

柳嶋 勇山



東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
のちたりはつあかりくまどくま合指  
つをを一本りりあをくまどくまあひま  
あども指あつるまどくまあひま  
左右引まける

九  
七面山  
大錦

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
出りあひはつあかりくまどくま合指  
たをくあつる  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
西より

大  
草摺  
菊ヶ濱

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あつるまどくまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

京  
門  
樊噲

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あひまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

カ  
荒川  
松ノ音

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あつるまどくまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

大  
大鳴戸  
林川

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あつるまどくまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

九  
駒達  
穂ノ嶋

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あつるまどくまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

イ  
象ヶ峯  
音ノ瀬

東西

初もんを合より双方よりくまどくまの  
あつるまどくまあひま  
二もんを合より双方よりくまどくまあひま  
あつるまどくまあひま

大  
梅ヶ枝  
鯉ヶ濱



是より前頭

東西

互合志をくひますなり  
よれやぶふ双方をいよも  
たの合うふよりをげく  
井らくあゝあゝなり

大坂

茂川松  
荒浪

東西

互合より双方けやくをひく  
もをたあつて後たり西ふありき  
志をくひよ合をふ西方よりねぢ  
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

因

大熊  
握濱

東西

互合より双方をさだめあつて志をく  
くあつての志双方合せ合一をいふ  
ありよふ力ををげき力を合をふ  
勢は川ひきつれをいふ山へ登る

因

隼津川  
別鹿山

東西

互合志をくひまどり志をひくを  
おるあ互合志をくひ双方をひ合  
しうぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
を志のあふをくひぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
程もたげく押出して繩をりなり

日

東雲  
縄張

東西

互合より双方けやく押合したる  
もをくひし志をねひ力をきりあ  
ひよあひたりふ二本松ヤツといと声  
うけてまをまぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
いぢぢ二本松なり

日

二本松  
越ノ戸

東西

双方互合より力をくひて志をくひ  
るよあひあひをくひぢぢぢぢぢぢぢぢ  
合して押合あや川押しをまんとする  
をうあめ石をくひつひぢぢぢぢぢぢ  
て要石くちとちなる

大坂

要石  
綾川



東西

立合より双方をばくくも合まるといふ  
あひのちくもまを死あつこのち松を  
より押しゆくもとを東方よりけし  
まをくも死をうんがひひまを  
こそ押しゆくも押しゆくも

江ノ  
松ヶ枝  
ヒメ  
響音野

東西

立合よりあまきまをまがくも  
なるを天は風のちくも  
かおまりし押しゆくも西方も  
たのちとまをまりも東方より  
まがくも押しゆくも天は風も

日向  
荒木野  
天津風

東西

立合より双方をばくくも合まるといふ  
あまきまをまがくも合まるといふ  
なるを天は風のちくも  
かおまりし押しゆくも西方も  
たのちとまをまりも東方より  
まがくも押しゆくも天は風も

モリヲカ  
二所ヶ関  
ヲハリ  
和田ヶ原

東西

立合双方けくも合まるといふ  
あまきまをまがくも合まるといふ  
なるを天は風のちくも  
かおまりし押しゆくも西方も  
たのちとまをまりも東方より  
まがくも押しゆくも天は風も

ハ  
大蛇浮  
桐山

東西

立合立合よりあまきまをまがくも  
あまきまをまがくも合まるといふ  
なるを天は風のちくも  
かおまりし押しゆくも西方も  
たのちとまをまりも東方より  
まがくも押しゆくも天は風も

江ノ  
関谷野  
荒見崎

東西

立合立合よりあまきまをまがくも  
あまきまをまがくも合まるといふ  
なるを天は風のちくも  
かおまりし押しゆくも西方も  
たのちとまをまりも東方より  
まがくも押しゆくも天は風も

モリヲカ  
玉川  
頂



西 双方互合とてよくお樸切者の四車  
けやくまのまのけり押出さんととれど  
大か大兵の上まより的小柳ま  
動せまともひのけまとまりつひふ  
か小まのせ押出小柳ま

小柳 秋田 四ツ車

中入後

西 互合より左右をげくおまへあひ後  
つくと一むん入たかひふまどつとや久  
しくむと合あ入てのち西方より上ま  
あひやち儀まより西押出西方後

今津浮 滝ノ音

是より前頭

西 互合より双方をげくおまへあひふ  
あひはかりのちあまへあひまより

一文字

東 ちんちん一文字うち

鳳山

互合よりつとくあまへ  
双方をげくあひまより

若柳

西 互合よりつとくあまへ  
のち左につとくあまへ  
つひふまへ出り西より右柳ま

源氏山

西 互合双方よりをけくおまへあひま  
らくひまをて勢のちよりたきり  
あひあひまをて四股がまよりま  
独りまふまをて押出し勢のち後

朝ノ戸 四明ヶ嶽

西 互合あまをくひまよりやぐと互合と  
ひくく双方よりけくくまへあひま  
やくと勢よりあまよりつとく押  
切押出しつとくまより

縁リ松 黒雲



言二言二

西 東

双方場敷のまをうられたまよぶつ  
をえんぐま合とひくくさ、あまより  
まのまをうるといまをひつとくうま  
つひふらでと引くけをううわだげあ  
まうら

連ヒカ  
小松山ヒカ

西 東

朝風も名をそのまをうられたま  
合とひくくま死まなうまをうら  
くれども名を大方のころ石サ  
くうらうまをまをうあらひをうら  
さうとせ付おあうら名をう

朝ヒカ鰐ヒカ石  
風

西 東

双方ま合とひくく勁達よりまをうけ  
くうれおひまけく押うけをれも大兵  
とらひ場敷功者のまをう後よりあま  
あうらひ押まらうくつひふとあま  
あうとまをう後うら

駒ヒカ達ヒカ  
就カラツ鳥ヶ濱

四日目

東 西

ま合より左四ふあうらまを合て  
物百へうま二まへのち西方より下  
あけ中一行同より朝緑へまをう  
とも双方一まをうけををひつて  
左右ともまをうあうら

八スツ橋ス  
朝ヒカ緑ヒカ

東 西

二むへとも双方一まをう  
まをう後まをう

麓ヒカ獅子ヒカ  
鉾ヒカヶ崎ヒカ

東 西

後まをうま合より右四ふあう西方より  
まをうよりまをうまをう押出西  
二まをうま合より左四ふあう  
あつと下まをうあうら

中ヒカ川ヒカ  
勢ヒカ見岩ヒカ

二平判也二

十



二言辨

東

互合よりのちくあつて東方ちきり押  
とんをそかきまうしあけつる甲ち

西

二をんめ互合より左四ツおわりまをく  
り互合西か上より上よりわが西方ち

東

初をん互合より双方ちひうけりく  
あさく押出り西方ち

西

二をんめ互合より同一く双方ちきり合  
あさくあつて押出り西方ち

東

初をん互合より双方けりくをひあひ  
りくあつて左四ツおわり西方より  
より付押出りつめりち

西

二をんめ互合より互をてとす  
初をん互合より双方退まり後左四ツ  
おわりよりひけりて互合より

東

二をんめ互合より互をてとす  
初をん互合より双方退まり後左四ツ  
おわりよりひけりて互合より

西

二をんめ互合より互をてとす  
初をん互合より双方退まり後左四ツ  
おわりよりひけりて互合より

東

初をん互合よりたき合ひりくあつて  
西より左より押出り三ツか渡りち

西

二をんめ互合より双方押合のち左四ツ  
おりのちりけりあつて互合より

東

互合より双方けりくをひあひ左四ツ  
ちりりく互合後負つて二をん

西

ひくちりりく互合つて互合より  
互合より互合より互合より

東

初をん互合より左四ツおわりちりり  
り互合上をちりりて後石ち

西

二をんめ互合より互をてとす  
西より右列を互合より互合より

東

互合よりけりく双方おひまのちりり  
付右四ツおわりり互合も接負つて

西

一本へ入るくも互合のち東より押  
とるちりりくあけつるち

二言

鶴

甲

貴

船川

男

石

三

掉山

時

嵐

誥

石

立

ヶ峯

男

岩

三

津濱

時

金

立

田山

鉄

石

音

柳

鶴

嶋

荒

海

二年川

二



言

東 西

初め合より双方けりくちの合  
あむくあむく押出さるるものなり  
二つめ合より左四ツ小なりなり  
か合下をわけてさるるまきせりなり

宮城野  
八ツ岩

東 西

初め合より双方おき合退まり  
のちさるるあけいせが後なり  
二つめ合より不足よりさるるわけて  
あて又いせが後なり

穂津川  
伊勢濱

東 西

合より双方をひひりくちなり  
一のちさるる合務つる二つめ  
へてさるる汗あたりぬ合つる  
押出さるるなり

時津川  
棒火矢

東 西

初め合より左四ツ小なりなり  
てのちさるる付押出さるるなり  
二つめ合よりぬあひ後左四ツ小  
わけてさるるあて又さるるなり

若瀨  
知善山

東 西

合より双方をひひりくちなり  
とひひりくちなりあてあてなり  
二つめ合よりさるるあてさるる  
のち押出さるるなり

若狹川  
騎石

東 西

初め合より左四ツ小なりなり  
か合つる下を投てさるるなり  
二つめ合より双方おきあひなり  
つるさるる押出さるるなり

大磯浪  
虎渡

東 西

初め合より双方退まりなり左四ツ  
あて下をあてさるるなり  
二つめ合より双方左四ツ小なりなり  
さるる合さけ出さるるなり

真任川  
摺墨

東 西

初め合より双方おき合後左四ツ  
あてさるる付押出さるるなり  
二つめ合より左四ツ小なりなり  
つるさるるあてさるるなり

廣瀬川  
伊勢松

二平川

三



東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
あつて右より合より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

大蛇山  
荒馬

東 西

初なる立合より双方より四つあつて  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

山ノ音  
樺嶋

東 西

初なる立合より左四つあつて右より  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

勝ノ海  
朝日鶴

東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

辰嵐  
八嶋浮

東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

藤武  
一貫

東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

力石  
滝登

東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

双子嶋  
三國山

東 西

初なる立合より右より左に合を四つ  
合より右より左に合を四つ  
二なるめ立合より双方から合のあつて  
合より右より左に合を四つ

梁  
三ノ鱗



東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

荒滝  
金子松  
捕

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

玉ヶ嶋  
勢見崎  
築嶋

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石

東 西

物を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて  
二を合せ合ひつゝあつてあつて

熊ヶ谷  
大鳴戸  
白石



東 西

初め合ふはつて押し出す東名  
二つめ合ふはつて西投西方名  
三つめ合ふはつて双方はつて四方名  
よつめ合ふはつて四方はつて四方名

立合

向鉄炮

岩ヶ嶽

東 西

初め合ふはつて四方はつて四方名  
二つめ合ふはつて西方より上より四方名  
三つめ合ふはつて西方より上より四方名  
よつめ合ふはつて西方より上より四方名

カ

松ノ音

真嶋山

東 西

立合より双方はつて押し出す東名  
二つめ合ふはつて西方より上より四方名  
三つめ合ふはつて西方より上より四方名  
よつめ合ふはつて西方より上より四方名

京

門

鯨ヶ濱

是より前頭

東 西

立合より双方はつて押し出す東名  
二つめ合ふはつて西方より上より四方名  
三つめ合ふはつて西方より上より四方名  
よつめ合ふはつて西方より上より四方名

江戸

三笠山

立川

東 西

立合より双方はつて押し出す東名  
二つめ合ふはつて西方より上より四方名  
三つめ合ふはつて西方より上より四方名  
よつめ合ふはつて西方より上より四方名

大坂

小天狗

東雲

東 西

立合より双方はつて押し出す東名  
二つめ合ふはつて西方より上より四方名  
三つめ合ふはつて西方より上より四方名  
よつめ合ふはつて西方より上より四方名

ハリマ

男鹿山

大熊



東 西

立合より双方をのあひまをくく  
るをつくるるも西方を中たり  
さ一舟をよるとんがひまもわく右の  
こねへわけけははなげ松が枝うち

カラツ  
玉ヶ槁  
松ヶ枝

東 西

立合より双方をがくせ入合をこ  
つひまう双方をこ死のうくあつて後  
源氏山よりまびくつうけをうけま  
くつひま一文字舟出とてうち

大坂  
源氏山  
一文字

東 西

立合より双方はくくもあひとをつ  
のまうのうくあつてつひまたり四半成  
舟しまるく立まわりあて後有はは  
まうくあを入る息を中をあ又を  
あひて後有つをを右へ引はけり

イ  
朝ノ戸  
朝風

東 西

立合より双方をなまわくも合  
まむしくもつくと後とせ合と  
双方より合をあひあけ合  
のこるをちよ乙のがけあつてつひま  
二所をせれうち

七  
二所ヶ関  
繩張

東 西

立合より双方のうくもさをれも  
くあつてあひまをこつとせ  
合とて右四ふちり関谷舟より  
まうよるまかとををまをこ投  
あつてあつち

カ  
黒雲  
関谷野

東 西

立合より双方ををつくるうくあて  
まう松よりまうけ舟をこつと  
西とお松山よりおまの右を引ま  
丹のれう一舟出とて松山うち

小松山  
緑リ松

平判記







東 西  
合より双方けりくもさうけ進こ  
進こしりく押ら死もあさのあふ  
たう四ふあうり押進を押せり  
由と合て勝負つらむをあ入てまは  
あひまがくも合つひふ右左へ引か

アキタ  
四ツ車  
日向  
荒木野

東 西  
合あさうて合  
かろく双方合志をく  
もひあひし初山をげく  
押せりてつひか押せり  
相山うち

戸  
桐山  
二本松

東 西  
双方合より押せあひあさひあ  
あしりくくけりくもさうけ進こ  
しりくあさう頂左右門をさうせん  
あは入るまがせり  
いさたうち

戸  
頂  
駒立

東 西  
双方合とひくく強力といひ各人  
の天は風けりくもさうけ進こ  
出して押せりれども小柳をれとま  
しめ志をくあさうあさうく押出  
小柳うち

戸  
天津風  
小柳

五日目

西 東  
初をん合よりさうけあひあさう  
あさう押せりいせのあさう  
二をんめ合よりたう四つふあうてま  
あひ西方を付せりいせのあさう

戸  
伊勢海  
荒金

西 東  
初をん合よりさうけあひあさう  
あさう押せりいせのあさう  
二をんめ合よりたう四つふあうてま  
あひ西方を付せりいせのあさう

戸  
唐獅子  
駒ヶ谷



東西

物をんを合より双方あつてもあひ  
のち東より押出―北山岩々  
二をんめを合より四方あつても東より  
なりさ―すひあげ北山岩々

イブモ  
石ヶ濱  
鬼岩

東西

物をんを合より四方あつてもあひ  
あを合さけ出―さるるさるる  
二をんめを合より双方あつてもあひのち  
なりさ―押出―さるるさるる

高ヶ峯  
若緑

東西

を合より双方右四ふあり并合のち  
西よりさけ出―さるるさるる  
二をんめを合より右四ふありさるる  
てのち下さるるさるるさるる

大坂  
龍ヶ淵  
藤浪

東西

物をんを合より双方あつてもあひ  
らつても并―出―さるるさるる  
二をんめを合より四方あつても西方  
肩口あつてもさるるさるる

12  
鳴戸嶋  
春風

東西

物をんを合より四方あつてもあひ  
あつても東より四方あつてもあひ  
二をんめを合より并―あひさるる  
さるるさるるさるる

京  
小錦  
川男浪

東西

物をんを合より四方あつてもあひ  
のち并―出―さるるさるる  
二をんめを合より四方あつてもあひ  
あつても并―出―さるるさるる

12  
勝陣  
鈴檝

東西

物をんを合より双方あつてもあひ  
四方あつてもあひのち四方あつても  
あひのち四方あつてもあひのち  
カシゴが―二ひの押出―出―さるる

九  
玉出嶋  
玉城山

東西

物をんを合より四方あつてもあひ  
東より付たり四方あつてもあひ  
あつても四方あつてもあひ  
二をんめを合より四方あつてもあひ  
より付たり四方あつてもあひ

ナ  
鳴澤  
二柱

評判記二

九







東西

合より東方にむけし合はるる  
ありて下をむけしをまきむら  
二むの合よりたり四つありひき  
か合より上より中投まきむら

待乳山  
宮城野

東西

合より東方にむけし合はるる  
はるる  
二むの合よりけりし合西方  
なへむねぬけ投のせむら

伊勢ヶ濱  
駒ヶ石

東西

合より東方にむけし合はるる  
上をむけしをまきむら  
二むの合よりたり四つありひき  
下をむけしをまきむら  
三むの合よりむら合はるる

榮嶋  
錦川

東西

合より東方にむけし合はるる  
二むの合より東方にむけし合はるる  
ありけりし投三むのねむら

三木松  
長濱

東西

合より東方にむけし合はるる  
二むの合より東方にむけし合はるる  
ありけりし投三むのねむら

目出山  
雲鶴

東西

合より東方にむけし合はるる  
右をむけしをまきむら  
二むの合より東方にむけし合はるる  
ありけりし投三むのねむら

三徳山  
楠

東西

合より東方にむけし合はるる  
ありけりし投三むのねむら

屏風浦  
錦山

東西

合より東方にむけし合はるる  
ありけりし投三むのねむら

三國山  
漣



東西

物を合より双方共ひまうたり四ふ  
なりか合てふねちあけ後の戸も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

滝ノ戸  
若ノ浦

東西

物を合より双方共ひまうたり四ふ  
合下りあけはさ山も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

滝ノ登  
鼓ノ山

東西

合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

金子松  
宮ノ柱

東西

合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

玉ヶ嶋  
楓ノ川

東西

物を合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

大ノ達  
武藏川

東西

合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

鎧ノ川  
竹ノ破

東西

合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

甲ノ石  
大ノ錦

東西

物を合より双方共ひまうたり四ふ  
あつてぶね下あけさの浦も  
二ふんめ合より双方共ひあひあはる  
あつてぶね下あけさの浦も

朝ノ門  
朝ノ鶴



言字言

東西

初より互合より双方をたれあひるまじ  
りゆくあつて押出— 総の— ぬき  
二むんぬき合よりたり西つふわりのつ  
ゆ— 合志よりえよと投秋の— ぬき

大鳴戸  
穂ノ嶋

東西

互合双方をげくもあひつりまじ  
つ— あつては又— ぬき— ぬき— ぬき  
今はず— たりたれ— ぬき— ぬき— ぬき  
今— ぬき— ぬき— ぬき— ぬき

今津浮  
松ノ音

東西

初より互合より双方つりまじ  
あつて西より押出— ぬき— ぬき  
二むんぬきは— 互合よりつりまじ  
押出— ぬき— ぬき

梅ヶ枝  
錦山

是より前頭

東西

互合志をくひまじり初目志を  
引とひく双方互あひまじり  
ともみまじり— ぬき— ぬき— ぬき  
けつ— 押出— ぬき— ぬき

茂リ松  
漣

東西

互合より双方まじり  
志をくひまじり— ぬき— ぬき  
西方よりむびり— ぬき— ぬき  
押出— ぬき— ぬき

榊山  
羽衣

東西

互合より双方まじりあて志をくひま  
あひのちより附て紐あつてまじり  
双方のつりまじり— ぬき— ぬき  
東方よりむびり— ぬき— ぬき  
三笠山

玉漆  
三笠山

平判 四二

十三



東西

立合より双方をさだめのさあひまがく  
あつこのち男し山りれあひまがく  
押くくる太秦そのまを引まうて  
おひんとまるとまをとり又つさう  
るあうさうまをあげて太秦うち

太秦  
男鹿山

東西

立合より双方をさだめくおさくあひ西へ  
押く東へ押くあひさうさうまをさだめ  
のちたう西つわたりあをさかたをけほ  
押く出さんとまをむ西をうと縁を止  
まつひふ下まをあげて浦まあと傍

東雲  
浦添

東西

立合よりあつこのちまをさだめく  
あつこのち風山かふまうさうまをさだめ  
大徳うけあひまをさだめく合はるまを  
さだめく大徳あまのうまをさだめく  
さうまをさだめく

大熊  
鳳山

東西

立合より双方をさだめくおひまうま  
のちくまをさだめくあつこのちあひま  
かふさうあひまを合はるまをさだめく  
押くまを越の戸をさだめくあつこのち  
さうまをさだめく

連  
越戸

東西

立合より双方をさだめくあひまをさだめく  
さうまをさだめくあつこのち二足三押  
まをさだめく又押くあひまをさだめく  
さうまをさだめくあつこのち押く  
さうまをさだめく

一文字  
響野

東西

立合より双方をさだめくあひまをさだめく  
押くまをさだめくあつこのちさうまを  
さうまをさだめくあつこのちあひまを  
さうまをさだめくあつこのちあひまを  
さうまをさだめく

要石  
繩張



東西

互合より多し、多きはのちのちあひあて  
のち双方と合右四つありあるひま  
ああるひまあれまをくわ合なる  
あつひあああがけさげ出ーあ  
くら

緑松

四明嶽

武隈

天津風

玉川

和田ヶ原

東西

互合より多し、あひのち右四つありて  
あけあ合まをてつて玉川よりと  
とりとまあけあせあ玉川も去依と  
とり力のつてああまをくわあ終あ  
左右の終あうあああああ

東西

互合より双方をげくたああひ又ま  
あああひああくまをてつてあああ  
あまあひあああ天は風よりまあ  
あまあああああああああああ  
あまあああああああああああ

東西

互合より双方をひうけのち右四つありて  
あけあ合まをてつて玉川よりと  
とりとまあけあせあ玉川も去依と  
とり力のつてああまをくわあ終あ  
左右の終あうあああああ

東西

双方とも多し、あひのち右四つありて  
あけあ合まをてつて玉川よりと  
とりとまあけあせあ玉川も去依と  
とり力のつてああまをくわあ終あ  
左右の終あうあああああ

鰐石

小松山

関谷野

頂

東西

互合より多し、あひのち右四つありて  
あけあ合まをてつて玉川よりと  
とりとまあけあせあ玉川も去依と  
とり力のつてああまをくわあ終あ  
左右の終あうあああああ

小柳

桐山



### 中入後

東西

初をん立合よりたりの四ふちりりく  
あつてやちちかげまの敷るち  
ニむしめ立合より同くたり四ふちり  
まをくか合けさ分投まのせりち

真嶋山  
音瀬

### 是より前頭

東西

立合より双方あつてまの合おひまり  
松かえよりとびこし押うるお小天狗ま  
とまり又お立まをくくか合つひふ  
右引こまひちかげあて小天狗ちち

松ヶ枝  
小天狗

東西

双方立合よりおひまりちのひちりり  
あつてお立よりおしるるお玉の橋あ  
まをく立まりて引まのひちりり  
おげお玉の橋

駒達  
玉ヶ橋

東西

立合より双方たりの四ふちりり互ひ  
お出まんとあひおをち又お出れ  
おげんとおれお立まりりかかぬりふ  
り立合つひお朝風より付さげお  
あつて朝風ちち

大蛇浮  
朝風

東西

双方立合よりおさあひ又おはちりり  
あひおをちりりおとあひて朝の戸  
おげりお立荒岬もてとちち  
とまをくおれども終お出西方橋

朝ノ戸  
荒岬

東西

立合より双方けりりちのひちりり  
くあつておひちかて右四ふちりりてち  
あひ荒お出よりよせつち押まら  
おれどもおをちとまをくく又お  
つるるおとまをくおげおをちち

荒木野  
黒雲



東西

互合より双方志をくくちのあひのち  
たり四ッふわり力をきりめてかえ合  
さぬくをきりて錦より押さるる  
二所は実押ゆぐー押さるるんとす  
西錦又志附押出ー錦さる

二所  
錦

東西

双方互合よりけりくちのりけたり四  
ッふわり又せぬをきりー押さるる  
四ッ車力をきりて合ども何  
か大兵大力の黒岩をきりてあぐり  
ふみ押出ー黒岩さる

黒岩  
四ッ車

六日目

東西

互合より双方志をくくちのちたり四  
ッふわり又せぬをきり合城が峰よりま  
方へきり出ーくちのちをきりてあぐり  
りつたを右取さるあぐり

城々  
綾  
鶴

東西

初志互合より右四ッふわり押合  
のち下まわりがせ川より  
二かじめ互合よりくちのちをきりて  
ゆのちへ押出ー鈴ヶ川

鈴ヶ  
若狭川

東西

互合より双方志をくくちのちたり四  
ッふわり又せぬをきり合城が峰よりま  
方へきり出ーくちのちをきりてあぐり  
りつたを右取さるあぐり

鳴戸  
荒浪

東西

初志互合よりけりくちのちをきり  
たり四ッふわり下まわりがせ川より  
二かじめ互合よりくちのちをきりて  
ゆのちへ押出ー鈴ヶ川

政勝  
宮川



東 西

二合より双よりたり四ふなり  
カ合のちよまけま住山うち  
二をのめ合より右四ふなり押合て  
のりりけあてま住山うち

月ノ戸  
真住山

東 西

初をん合より双方をけくおまあひ  
のりくあてのちなりへまおれあげ  
二をのめ右四ふなり双方押合東方  
西のまけ押出り産竹うち

唐竹  
石ヶ峯

東 西

初をん合よりまげくまのあひのち  
右四ふなりよまけ中ぐら投てま  
二をのめ合より右四ふなりけえ  
又まらせ川うち

初瀬川  
岩ノ戸

東 西

二合より双方をまけまあひけく  
くおりろれよとつて一をん合  
くカとまげましつとまあひけり  
まらせ川うち

嶋ヶ崎  
三掉山

東 西

初をん合よりつとくまおて右四ふ  
おりトまあけま滝うち  
二をのめ合よりけくまのあひのち  
右四ふなりよまけ中ぐら投てま

白滝  
箱松

東 西

初をん合よりたり四ふなり西のま  
まけ出りおまけうち  
二をのめ合よりつとくあてたり四ふ  
かりつとくけくの尾うち  
三をのめたり四ふ下ま投まの尾

鬼ヶ嶽  
鷲ノ尾

東 西

初をん合よりたき合のち右四ふ  
わりよまけあの川うち  
二をのめ合よりまのあひ右とつて  
まらせ川うち

芦ノ川  
招墨

東 西

初をん合より廣瀬川より右引まて  
おりつとくおけりせ川うち  
二をのめ合よりまのあひあつ破右  
おまけまのち押出りあつ破うち

荒磯  
廣瀬川

二合川記二

廿八



東 西

初より双方立合とひくく斤男波より  
とひは右の足よりたの足(内)け左捨  
二たえめよりしあて又斤男波より

片男浪  
伊勢海

東 西

初より立合よりたのあひ後右四ふ成  
けく一投あて竹ひき捨  
二たえめ立合より双方押合若漆より  
とひは右よりしあて投より漆より

竹拉  
若漆

東 西

立合よりけくくたの合のち右四ふ成  
双方より投あひのちし押よりしあて  
つてし後負つてと一たえめ入いあてしあて  
あひよりしあて押出し伊吹より

伊吹嶋  
待乳山

東 西

初より立合より双方たの四ふ成あて  
馬よりしあてしあてしあて西より  
二たえめ立合よりたの四ふ成より西ふ  
あてよりしあて又あてより

初陣  
去林

東 西

初より立合より双方たの四ふ成あて  
馬よりしあてしあてしあて西より  
二たえめ立合よりたの四ふ成より西ふ  
あてよりしあて又あてより

洛嶋淳  
荒馬

東 西

立合より双方けくくたのあひ右四ふ  
なりしあてしあてしあてしあて  
一たえめ立合よりたのあひ右四ふ成  
あてよりしあて又あてより

立板  
都岩

東 西

初より立合より双方けくくたのあひ右四ふ  
なりしあてしあてしあてしあて  
二たえめ立合より双方けくくたのあひ右四ふ  
なりしあてしあてしあてしあて

雷門  
綾浪

東 西

初より立合より双方けくくたのあひ右四ふ  
なりしあてしあてしあてしあて  
二たえめ立合より双方けくくたのあひ右四ふ  
なりしあてしあてしあてしあて

鬼岩  
榮嶋

二言評記二

社九



東 西

初を合より双方をあひのちを  
さしやま投いせが後を  
二を合よりあひのちを  
わたりよまよりあひのちを

矢筈山  
伊勢濱

東 西

初を合よりあひのちを  
つひあひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

勢  
高ヶ関

東 西

初を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

初嵐山  
勇山

東 西

二を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

松山  
白川

東 西

初を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

白雨  
旭鶴

東 西

初を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

若ノ浦  
三ッ鱗

東 西

初を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

梁  
貫

東 西

初を合よりあひのちを  
あひのちを押し  
二を合よりあひのちを  
あひのちを押し

錦山  
滝登

二  
平川也二

三



東

初をんを合より双方おとあひ右四ッ  
かりカを合後まけ出し後行り

藤竹

西

二をんめを合よりまのあひ右四ッあり  
いらくあつて後まけ出さる痛々

屏風浦

東

初をんを合双方おと合のりくあつて  
あつて合に押出し勢見崎なり

勢見崎

西

三をんめを合よりあり四ッありカを合  
のちまけ出さる勢見崎なり

玉ヶ嶋

東

立合よりあり四ッあり双方のりく  
ありありを合より一後行りつとをん

掘川

西

合後まけ出さる一合楓川より  
まけ出て右まけ出さる川なり

三國山

東

初をんを合よりまけ出さるあひ右の  
二をん出さるつとをん

初瀬野

西

二をんめを合よりありあつてあひのりく  
あつてあつてありあつてあつて

柳嶋

東

初をんを合より双方まのあひ右四ッ  
ありありを合西へ押出さる

白石

西

二をんめを合よりありあつてあつてあつて  
ありありあつてあつてあつて

宮ヶ嶋

東

初をんを合よりけりあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて

向鉄炮

西

二をんめを合よりあり四ッあり西へ  
まけ出さる上まけ出さる七面山なり

七面山

東

初をんを合より双方あり四ッありあり  
ありありあつてあつてあつて

錦山

西

二をんめを合よりありあつてあつてあつて  
ありありあつてあつてあつて

草摺

東

初をんを合より双方ありあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて

音ノ瀬

西

二をんめを合よりあり四ッありあり  
ありありあつてあつてあつて

大鳴戸



西 東

物をいふ合より双かけくたれたあひ  
まをくみひまりの南の方へうき出  
けりえり  
二つ人の合より右四ふなりなり  
よもより出がう中へまをくた

樊 噲  
梅ヶ枝

目より前頭

西 東

合より双方右四ふなり  
まをくみ合まをくた  
うせうけさげ中へてうち

今日出籍

鯁ヶ濱  
藤ヶ嶽

西 東

合より右四ふなり  
まをくみ合まをくた  
井道ともの方へ押出  
まはごうち

今日出籍

羽衣  
今津渚

西 東

合より双方まをくあひあうひまを  
うけうくまをくうのち右四ふ  
わりうくかま合井道と中  
りごまをくりあまをくも  
つむとあ入てのちた右へ引まを

立田岩  
太秦

西 東

合より双方けくまをくけ中  
なり四ふなり中物カとまめて押  
まをくまをくまをくまをく  
引付まをくまをく

小天狗  
大熊

西 東

合より秋は川まをくけりまをく山  
うけとあなり四ふなり押合あ  
たかひまをく儀とまをく内秋は川  
ひまをくつれり山へまをく

鳳山  
秋津川



東 西

互合より双方をげくおさくあひ  
まをうくあつて松ヶ枝よりまひ  
まをうくと越の戸うけとあまよ  
り力とまりあつて押さくつひふ  
り方へ押出―越の戸うち

越ノ戸  
松ヶ枝

東 西

互合より双方けくくまのあひのち  
なり四ッふわり志むく井合勢  
まねくしてわりまを源氏山  
まねく―又たり四ッふわりかりまがけ  
あてく―源氏山うち

源氏山  
駒達

東 西

互合より双方あつておさくあひ  
まをうく追もど―うくまを  
つひふたり四ッふわりたかひまよ  
とんとあつてまひまを後負つて  
あ入てのちた右門から

和田原  
朝ノ戸

東 西

互合より双方まひのけあつて  
なり四ッふわり朝風より押―三三  
あ―押さくむをあま押さく  
あま―むま合さけしてあま後

朝風  
荒木野

東 西

互合より双方けく―たき合ま  
あひまうりのうくまを―三合  
あ―たこれてまあ附押さく  
押さく―つひふ四車よりつ―押  
切押出―四車うち

四ッ車  
武隈

東 西

互合より双方まあつてまひ  
あま―まをまを三まかりのうく  
つ―まをまをよりまあ附さく  
まを三まかりのうくあつてまひ  
合つひふたりよりまを投さく

荒岬  
三ッ鱗

二言并言二

七三



東 立合より双方を、あらく押さへあひち依  
 を立合より二所を、あらく押さへあひち依  
 力あまかせ押さへると大力の、あまかせ  
 をうけると、あまかせを、あまかせの、あまかせ  
 方へ押出さへ、あまかせを、あまかせ

黒雲  
 二所關

東 立合より右四つを、あらく押さへあひち依  
 大を、あらく押さへあひち依、あまかせ  
 方へ押出さへ、あまかせを、あまかせ  
 中を、あまかせ又、あまかせ又、あまかせ

錦  
 黒岩

東 立合より双方を、あらく押さへあひち依  
 大を、あらく押さへあひち依、あまかせ  
 方へ押出さへ、あまかせを、あまかせ  
 中を、あまかせ又、あまかせ又、あまかせ

鷲濱  
 鰐石

中入後

東 初より立合より、あらく押さへあひち依  
 方へ押出さへ、あまかせを、あまかせ  
 中を、あまかせ又、あまかせ又、あまかせ

松ノ音  
 駒達

東 初より立合より、あらく押さへあひち依  
 方へ押出さへ、あまかせを、あまかせ  
 中を、あまかせ又、あまかせ又、あまかせ

秋ノ嶋  
 甲石

是より前頭



東 西

立合より双方右四ノふなり  
志をくく押し合つひ小西方より  
押し合つひ押し出し  
飯家川より

今日  
出籍  
生ノ松  
飯家川

東 西

立合より双方をげくちのあひあひ  
まりり押し合ひつひををつぎしを  
つひをこれいどとあひのち玉が橋より  
たりの足よりつひこを投むが橋より

玉ヶ橋  
漣

東 西

立合より双方おさへあひ又ををの合  
志をくくあつひひまきおよりまきを  
四ノふより押し合つひと大蛇がさ押し  
わがし終ふ東の方へ押し出大蛇渚より

響野  
大蛇渚

東 西

立合より双方おさへあひ要石をけり  
ちの志をくく四明うごけうけく志を  
ちの合てしひこを四ノふめて押する  
要石押し東の方へ押し出要石より

四明嶽  
要石

東 西

立合より双方をげくちのあひたり  
四ノふなり相生より西の方へ押する  
志をくくねをくく多り志をまきつり押  
ひをくく相生を力とつり押し終ふ  
ちの方へ押し出相生より

相生  
緑松

東 西

立合より双方をの合かて右四ノふなり  
双方おさへぬ上をけれをりり押し  
志をくく相生をくく志をあへて又を  
あひをげくちを合れりしけれおさ  
志は風より押し出し双方の合ひより  
あつひを石の敷をあつりつひより

天津風  
玉川



東 西

互合より双方よりくまされのそ  
あひあつて後右四つなりたふみ力  
を一つ一押合桐山より表附つひみ  
さげ出して相山くち

桐山

荒磯

東 西

双方とも名をそのまよりわれ互合  
けやくをのあひつひみ右四つなりて  
おひりれをさむれつちあつて後  
つちをい入てのち又さげくちを  
後つちをいれをいれ分る

小松山

關谷野

東 西

互合より双方おきへあひまをくちあつて  
四つなりを互合又ころれて頂よりを  
くちおき出さくとむるおしおし  
かおまりて押する頂も又あつて  
なれども後西より押出小柳くち

頂

小柳



